

## 令和3年度 医療関係者向け研修 分析・考察

テーマ：「介護サービスについて

～居宅サービスと看護小規模サービスの違い～

目的：○利用までの流れを知る事ができる

○利用するにあたっての、アセスメントを知る事ができる

○医療機関との連携を知る事ができる

### 【アンケート内の意見】

- ・サービスは同じでもメリット・デメリットがあることが分かり、どのサービスを使うとよいのか勉強になりました。
- ・居宅サービスと看護小規模サービスの違いについて、契約からの流れや費用の違いなど理解が深まった
- ・解りやすく研修して下さりありがとうございました。それぞれにメリットとデメリットがあり、どのように家族様と関わっていかうか再確認が出来ました。

### 【分析・考察】

参加者の内訳は、医療機関28%、介護機関63%であった。職種をみると、医師や歯科医師、柔道整復師や福祉用具関連など様々な職種からの参加があった事から、医療介護関係者にかかわらず、介護サービスを知りたい思いがあるのではないかと考える。特にこの機関に参加して欲しいという目的ではなく、サービスを知ってもらふ事を目的としていた為、目的は達成していると考え。しかし、医療機関の参加率は高くはない為、興味をもってもらえるテーマを今後も考えていく必要がある。

今後の研修の要望としては、事例紹介と対応、介護サービスについての意見が多かった。身寄りがない方や認知症などの困難事例を聞き、どのように連携していくか、また介護サービスについては、知っているようで知らない事があり再確認もできる為、それぞれの役割を知り介護がイメージできるようなテーマを検討する必要がある。

